

# いのち ひろば

連載

(49)

毎月1回、中旬の水曜日に掲載

今月のひとこと  
暴飲暴食を避け、いろんなものを偏りなく食べましょう。  
早寝早起きを心掛けましょう。  
適度に体を動かしましょう。

## 带状疱疹とその予防接種について

根岸皮膚科院長 根岸 晶



はじめに

带状疱疹は水痘帯状疱疹ウイルスにより引き起こされる感染症です。命にかかわるようなことは2016年に「50歳以上の成人」に承認されたことから接種する方も少なくなりましたが、重症例は増えています。水痘ウイルスは一生体内に潜伏し、免疫力が低下すると再発することがあります。

带状疱疹の病態

带状疱疹は通常の感染症と異なり、伝染ではなく、以前から体内にあった病原体(水痘帯状疱疹ウイルス)が活性化して発症します。水痘ウイルスは一生体内に潜伏し、免疫力が低下すると再発することがあります。

	水痘ワクチン(生ワクチン)	带状疱疹ワクチン(不活化ワクチン)
対象者	50歳	50歳(免疫不全者可)
接種回数	1回	2カ月以上あけて2回
投与方法	皮下注射	筋肉注射
副反応	軽度の疼痛	中等度の疼痛、発赤腫脹、筋肉痛、倦怠感
効果の継続期間	5年程度	10年以上
有効性	発症 51.3%減少 带状疱疹後神経痛 66.5%減少	発症 97.2%減少 带状疱疹後神経痛 88.8%減少
費用(自費)	7500~10000円	20000~30000円 × 2回

(表1) 带状疱疹の予防接種

数日間神経痛のような痛みが続き、その後体の片側に帯状に赤い発疹、水ぶくれが出現します。それに伴って体調不良、頭痛がみられ、病変部位の痛みがひどく、動きの鈍さもみられます。2週間程度で症状は最も強くなり、その後徐々に改善し、体調も戻り、1か月くらいで傷も治癒します。しかし、重症例では神経痛が治癒せずに数ヶ月から数年間にわたって続くことがあります。この神経痛は、免疫機能の衰えた高齢者ほど多くみられます。

带状疱疹の症状

初期には抗ウイルス剤の内服(場合により点滴)を1週間行います。他に消炎鎮痛剤、安定剤、ビタミン剤等を内服し、皮膚部には外用剤を使います。その後神経痛が残った場合は注射リハビリ等を行います。

带状疱疹の治療

带状疱疹の予防接種

初期には抗ウイルス剤の内服(場合により点滴)を1週間行います。他に消炎鎮痛剤、安定剤、ビタミン剤等を内服し、皮膚部には外用剤を使います。その後神経痛が残った場合は注射リハビリ等を行います。

おわりに

次回5月中旬一開節リウマチの最新治療についてを掲載する予定です。維持に大きく役立ちます。

ねじし・あき 1998年生まれ。神奈川県立湘南高等学校卒業。奈良県立医科大学卒業。主な勤務先、小田原市立病院皮膚科。平成18年から根岸皮膚科院長。

Q1 対象年齢は？  
50歳以上です。

Q2 他のワクチンとの同時接種について？  
①新型コロナウイルスとは、同時には接種できません。2週間あける必要があります。  
②他のワクチンを接種する場合、水痘ワクチン(生ワクチン)は4週間、带状疱疹ワクチン(不活化ワクチン)は1週間あける必要があります。

Q3 水痘(水ぼうそう)にかかったことがある不明でも、带状疱疹の予防接種をしてよいのか？  
特に問題ありません。日本では成人のおよそ90%以上が水痘のウイルスをもっていると考えられています。

Q4 公的助成はあるか？  
東京、名古屋など一部の自治体では行われています。今のところ神奈川県静岡県では行われていません。

Q5 海外ではどうしているのか？  
アメリカでは带状疱疹の予防接種は大人の定期予防接種の一つになっています。また、同様のワクチンが、EU、カナダ、オーストラリアでも認可されています。

Q6 副反応について？  
他のワクチンと同じように、注射部位の痛みや腫れがみられることがあります。水痘ワクチン(生ワクチン)は、あまり症状はみられません。带状疱疹ワクチン(不活化ワクチン)の方が強い症状が出やすく、筋肉痛、虚脱感、頭痛、発熱、胃腸症状がみられることもあります。

Q7 以前带状疱疹になった人も予防接種すべきか？  
带状疱疹の再発率は6.4%との調査報告があります。带状疱疹にかかった後は免疫が下がりますので、急ぐ必要はありませんが、時間がたてば免疫は下がります。かかってからおよそ5年以上経過した場合は接種を検討しましょう。

Q8 水痘ワクチン(生ワクチン)と带状疱疹ワクチン(不活化ワクチン)のどちらがよいのか？  
带状疱疹ワクチン(不活化ワクチン)の方が、带状疱疹および神経痛の発症予防に効果が高く、医学的には推奨されます。ステロイド剤や免疫抑制剤などを内服している人でも接種可能です。しかしながら、かなり高価(2回接種で4万円から6万円)で、副反応が強いです。比較的若い方、健康な方、念のために予防したい方は水痘ワクチン(生ワクチン)でもよいでしょう。



個々の状況を鑑みて比較検討してください。

## 小田原医師会より住民の方々へ

### 地域医療連携室の活動

小田原市・箱根町・真鶴町・湯河原町の病院・診療所について、つぎのようなお問い合わせにお答えしています。このような時には小田原医師会地域医療連携室までお電話ください。

小田原市・箱根町・真鶴町・湯河原町の皆様へ  
こんな時には小田原医師会地域医療連携室までお電話ください。

かかりつけ医  
健康相談  
健康診断の再検査

地域医療連携室  
☎ 0465-47-0833  
月曜日～土曜日 9:00～12:00  
13:00～17:00  
(日曜・祝日、12/29～1/3休み)

医療機関のご案内  
医師相談  
健康相談

### 在宅医療をご存知ですか

～いつまでも住み慣れた地域で暮らすために～

小田原医師会地域医療連携室では、住民のみなさまに在宅医療について分かりやすく説明することを目的としたリーフレットを作成しました。HPよりダウンロードできます。

1. 在宅医療とは  
「生活の場」に訪問して行われる医療のこと。住み慣れた地域や自宅で安心して生活ができるよう、さまざまな専門職等が連携してご本人・ご家族を支えます。

2. 在宅医療で受けられること  
●訪問診療  
●訪問看護  
●訪問リハビリテーション  
●薬剤師の訪問  
●介護サービス

3. 在宅医療に関わる費用について  
訪問診療の費用には医療保険が使えます。  
訪問看護については医療保険と介護保険が使えます。  
ヘルパーの訪問や福祉用具のレンタル等には介護保険が使えます。

画像は在宅医療リーフレットの中間

### 医療・介護・福祉関係で働く皆様へ

小田原医師会地域医療連携室では、医療・介護・福祉関係で働く皆様からの医療についてのお困りごと、お悩みなどのご相談を受け付けております。

医療・介護・福祉関係のみなさまへ

かかりつけ医  
訪問看護  
訪問リハビリテーション  
薬剤師の訪問  
介護サービス

小田原医師会地域医療連携室  
TEL: 0465-47-0833  
月曜日～土曜日 9:00～12:00  
13:00～17:00  
(日曜・祝日、12/29～1/3休み)

相談内容(例)  
●訪問診療の主治医がなかなか決まらない。  
●転院したいが、どこで診てくれるか。  
●転院した。かかりつけの整形外科が休診。  
●こんな症状の時はどこに受診すればいいか。

医師による電話医療相談  
内科・外科・泌尿科・産科・皮膚科など  
各科の相談に対応します。  
13:30～14:30

新型コロナウイルス感染症  
問い合わせ先専用ダイヤル

ゼロコロナなし  
0570-056774  
一部のIP電話など  
上記番号につながらない場合  
045-285-0536  
1無休(24時間)  
9 8 7 2 3 4  
平日(9:00～17:00)

発熱や咳などの症状のある方、感染の不安のある方、健康・医療に関すること、診療可能な医療機関のご案内、COCOA・濃厚接触者に関すること など

1 協力金(第3弾・第6弾・第7弾)に関すること  
2 協力金(第4弾)に関すること  
3 協力金(第5弾)に関すること  
4 営業時間短縮要請に関すること  
5 大規模イベント開催の事前相談に関すること  
6 経営相談に関すること  
7 LINEコロナお知らせシステム  
8 その他

〈上記の問合せ先〉  
小田原医師会地域医療連携室 ☎0465-47-0833  
月曜～土曜(日曜、祝・休日、12/29～1/3休み)  
午前9時～正午/午後1時～午後5時

医療機関検索は  
小田原医師会のサイトから利用できます  
<https://www.odawara.kanagawa.med.or.jp/>